

科目名	社会政策		科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
英文表記	Social Policy		開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	きむら きよし		開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	木村 澄		修得単位	4単位
授業のテーマ	社会政策の本質と発展を概観しながら、社会保障制度の具体的適用を学びます。			
授業概要	<p>病気、けが、障がい、妊娠、出産、失業、死亡、超高齢社会における年金や介護、さらには仕事にまつわる諸問題は、すべての人々にとって重大な日常生活上の事柄です。社会政策は、これらの諸問題に対する国家の行う対応策であって、社会の変化に対応しながら生成・発展をとげてきました。</p> <p>本講義では、社会政策の本質論と社会保障法の発展を概観しながら、日本における社会保障制度の具体的な適用を見ていくこととします。</p>			
到達目標	<p>社会政策の生成と理論を理解したうえで、社会保障法や労働問題に関するさまざまな制度を概説できるようになること。そして、社会政策にまつわる諸問題を読み解き、職業生活と人生において活かせるようにすることを目標とします。</p>			
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前に前の回で配付したプリントとノートに必ず目を通しておいてください。 2. 確認の小テストを4回行います。復習をしっかりと行ってください。 3. 新聞やテレビのニュースで社会保障や労働問題に関する出来事に関心を持ってください。 			
履修条件	<p>「法律事例研究Ⅰ」の単位を修得済みであることを前提に授業を進めます。</p> <p>「労働法」が未履修の場合には、翌年度の履修を推奨します。</p>			
授業計画				
第1回	社会保障の意義と生成 資本主義社会の矛盾の修正	第17回	年金保険制度(1) 年金制度総論	
第2回	社会保障の機能と方法 「公的扶助」と「社会保険」	第18回	年金保険制度(2) 「国民年金」と「厚生年金」	
第3回	イギリスにおける社会保障の歴史的発展(1) 「救貧法」の制定	第19回	労働者災害補償保険制度(1) 「業務災害」と「通勤災害」	
第4回	イギリスにおける社会保障の歴史的発展(2) 劣等処遇の原則	第20回	労働者災害補償保険制度(2) 保険給付の種類①	
第5回	イギリスにおける社会保障の歴史的発展(3) 個人的貧困観から社会的貧困観へ	第21回	労働者災害補償保険制度(3) 保険給付の種類②	
第6回	イギリスにおける社会保障の歴史的発展(4) ベヴァリッジ報告と社会保障法	第22回	雇用保険制度(1) 保険給付の種類①	
第7回	日本における社会保障の歴史的発展(1) 明治期から大正期までの救貧政策	第23回	雇用保険制度(2) 保険給付の種類②	
第8回	日本における社会保障の歴史的発展(2) 昭和初期から戦後改革期まで	第24回	雇用保険制度(3) 保険給付の種類③	
第9回	生活保護法(1) 「朝日訴訟」を考える	第25回	介護保険制度(1) 介護保険法総論	
第10回	生活保護法(2) 生活保護の基本原則	第26回	介護保険制度(2) 介護サービスの種類①	
第11回	生活保護法(3) 生活保護の種類と諸問題	第27回	介護保険制度(3) 介護サービスの種類②	
第12回	医療保険制度(1) 健康保険総論	第28回	社会政策の理論(1) ワグナーの理論、シュモラーの理論	
第13回	医療保険制度(2) 保険給付の種類①	第29回	社会政策の理論(2) ブレンタノの理論、大河内の理論	
第14回	医療保険制度(3) 保険給付の種類②	第30回	社会政策の理論(3) 森の理論、岸本の理論	
第15回	医療保険制度(4) 保険給付の種類③	第31回	まとめ	
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験	

テキスト	講義の際にレジュメや関係資料を配付します。
参考文献・資料	フリードリヒ・エンゲルス著『イギリスにおける労働者階級の状態』、細井和喜蔵著『女工哀史』、チャールズ・ディケンズ著『オリバー・ツイスト』、マイケル・ムーア『Sicko』、その他
成績評価の方法	<p>【主体的学びの姿勢（15%）小テスト（25%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。
成績評価の基準	秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（0～59点）
オフィスアワー	毎週月曜日 13：00～14：00・木曜日 14：40～15：40 ※これ以外の時間帯でも可能な限り対応します。
学生へのメッセージ	将来の職業生活や人生を通じて必ず役に立つ科目です。 「わかる・できる」ようになるに向けて、「主体的な学び」の姿勢を大切にしましょう。